

令和元年度 商工労働観光部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
1	<p>京都産業の活力を向上させるため、新たな産業基盤を十分に活用し、中小企業等の裾野拡大と成長支援を行います。</p>	<p>○ 京都経済センターを核として、オール京都体制でのきめ細やかな企業支援やスタートアップ企業の育成等を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「オープンイノベーションカフェ」を活用して、起業経験者や先輩経営者等が参加するアクセラレーションプログラムを通じ、スタートアップ企業を育成 <スタートアップ関連イベントの開催：30回> ・「中小企業応援センター」において、中小企業支援機関と連携し、コンシェルジュによるワンストップ相談窓口や創業の入口から安定成長に至るまでのトータルパッケージ支援などを実施し、中小企業の伴走支援を一層強化 [応援隊の企業訪問：実2.5万社 延べ5.5万社、制度融資・補助金等の支援：1万件 創業支援：3,000件、応援センター配置コンシェルジュ延べ相談者数：800件] ・「商店街創生センター」において、京都経済センターに入居する中小企業支援機関と連携して、商店街の活性化を支援 <京都府商店街振興組合連合会・京都商店連盟、商工会・商工会議所等と一緒に商店街を訪問：延べ120回> ・「京都海外ビジネスセンター」において、府内企業と海外企業のビジネスマッチングや、海外人材の府内での起業支援を推進 <新たに海外展開に取り組んだ企業数：50社> <起業支援を行った海外人材数(海外ビジネスセンターを通じた)：20人> ・専門家派遣による事業承継型M&Aの取組促進や北部地域における相談体制強化により、中小企業の多様な事業承継を支援<事業承継診断件数：1,112件> <p>○ 産業集積の促進と先端技術の活用により魅力ある京都経済を創出します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府内総生産を向上させるため、事業用地の確保と活力、魅力あふれた産業集積を進めます。 <工場立地動向調査に基づく新規立地件数：20件> ・京都スマートシティエキスポの開催を通じ、新たなビジネスモデルやイノベーションを創出 <ビジネス商談：250件>

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 商工労働観光部 重点目標

重点事項	成果目標（注）
	<ul style="list-style-type: none"> ・「京都ビッグデータ活用プラットフォーム」でのビジネスマッチング・アライアンス構築や、デジタルサイネージ等を活用した実証実験等を推進し、スマートシティ関連ビジネスを創出 <プラットフォーム参加目標企業等：150社> ・AIベンチャーを交えた企業グループ等により、庁内各部局の政策課題の解決を図り、これらの取組を通じてAI・IoT等の最先端技術を有する中小・ベンチャー企業を育成 <p>○ 次世代職人による新たなものづくりの促進や、海外ネットワーク等の活用を通し、伝統産品や京都産品等の新市場を創出します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICOM（国際博物館会議）京都大会に合わせて開催する「KYOTO KOUGEI WEEK」において、国内外ものづくり関係者との相互交流や新商品開発、企画展示・商談、工房ツアー等の実施 <「KYOTO KOUGEI WEEK」での商談成立見込件数：500件> ・伝統産業の担い手となる若手職人の職場確保と技術継承 ・現代のライフスタイルにマッチした、国内外市場向け新商品開発等の支援 <BtoB向け成約（見込み）件数：250件>

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 商工労働観光部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
2	<p>深刻化する人材不足に対応するため、人材の確保、定着、育成にオール京都で取り組み、誰もがいきいきと安心して働ける環境づくりを進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 若者、子育て中の方、女性、中高年齢者、留学生、障害者など様々な労働者の多様な働き方を推進することで、深刻化する人材不足に対応するとともに、誰もが安心して働ける職場づくりを支援します。 <ul style="list-style-type: none"> ・仕事と生活の両立に向けた多様な働き方を推進 <ul style="list-style-type: none"> 〔多様な働き方に取り組む企業支援：子育て企業サポートチームによる周知 2.5 万社 取組実施企業数：60 社〕 ・奨学金を返済する働く若者の負担軽減を図る奨学金返済支援制度の普及・促進 <ul style="list-style-type: none"> <制度導入企業数：累計 100 社> ・ものづくり産業、観光関連産業及び建設業分野において、府独自の産業政策と雇用政策を一体的に推進 <ul style="list-style-type: none"> 〔地域活性化雇用創造プロジェクト(京都の未来を拓く次世代産業人材活躍プロジェクト)による正規雇用創出：324 人〕 ・早期離職者に対する再就職に向けたチャレンジへの支援や就職が難しい若者等に対する基礎訓練から就職・定着までの伴走支援 <ul style="list-style-type: none"> <若者就職・定着総合応援事業による雇用創出数：70 人> ・「中小企業人材確保・多様な働き方推進センター」を設置し、府内企業の人材確保・定着に向けた支援を強化 <ul style="list-style-type: none"> <新センター支援による人材確保数：1,890 人> ・障害者雇用に取り組む企業を支援し、障害者の働きやすい環境づくりを促進 <ul style="list-style-type: none"> 〔京都障害者雇用企業サポートセンターによる支援企業数：550 社 企業内サポーターの育成数：累計 400 人〕 ・早期離職者や就職氷河期世代等の再就職に向けたチャレンジ支援 <ul style="list-style-type: none"> <再チャレンジ事業による就職内定者数：500 人> ・就職支援協定締結大学との連携事業の促進 <ul style="list-style-type: none"> <大学生・留学生支援事業による就職内定者数：6,000 人>

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 商工労働観光部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
		<p>○ 新たな在留資格(特定技能)の創設等により増加が見込まれる外国人材の受入れについて、オール京都で受入れ推進体制を構築し、受入れを希望する中小企業に対する支援と、外国人が働きやすく、暮らしやすい環境整備を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 市内における外国人材の受入れ・共生に向けた対応方策を検討するための「京都府外国人材受入れ・共生推進本部（仮称）」の設置・ 外国人材の円滑な受入れを支援するため、「京都府中小企業人材確保推進機構」による国の機関や経済団体等と連携した、企業向け相談体制の整備・セミナー等の開催、雇用管理アドバイザーによる相談、外国人コーディネーターによる巡回等の実施

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 商工労働観光部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
3	<p>人とももの交流をさらに促進させるとともに、「京都府観光総合戦略」に基づき、観光地域づくりを進め、観光交流人口の増大と観光消費額の増加を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「京都観光交流圏」(京都市+府域+近隣府県)において、行政単位を越えた地域観光コンテンツの充実や効果的なプロモーションを展開し、府域での観光交流人口の増加や観光消費の拡大を図ります。<府域観光入込客数:3,700万人、府域観光消費額:712億円> <ul style="list-style-type: none"> ① 府域への周遊観光の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・国宝等の修理現場の特別公開と府域の資源とを周遊する観光ツアーや、「京の七夕」・「京都・花灯路」と連動した事業を府域で展開 ・平均消費単価が高く、既に京都市内に多く欧米豪の観光客が訪れている優位性を踏まえ、「欧米豪市場」を新たに重点市場に選定し、「旅マエ」「旅ナカ」でのPRを推進 ② 「もうひとつの京都」における観光コンテンツの充実と発信強化 <ul style="list-style-type: none"> ・「もうひとつの京都」構想を更に「深度化」させるため、食や歴史（大河ドラマ）、スポーツを共通テーマとした事業を実施 ・ツーリズムEXPOジャパン（大阪開催）における「もうひとつの京都」PRや、首都圏の情報発信拠点の活用により、観光誘客を促進 ③ 観光を支える基盤づくり <ul style="list-style-type: none"> ・新たな宿泊施設の誘致・確保やニーズに応じた多様な宿泊施設の整備を促進 ・多言語での観光情報の発信強化（動画、HP、SNS等） ○ 大きな経済波及効果が期待できるMICEの府域への誘致促進や、国際会議の機会を捉えた府域の魅力の世界への発信を推進します。 <京都府内の国際会議開催件数:375件> <ul style="list-style-type: none"> ・国際会議に加えて、府域に存在する様々な資源を活かして、国際学会の小規模な会議や招聘旅行など多様なMICEの府域への誘致を促進 ・「UNWTO/UNESCO 観光と文化をテーマにした国際会議」等の国際会議の機会を捉えた府域の魅力の世界発信

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 商工労働観光部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
		<p>○ 京都舞鶴港の取扱貨物量の拡大及び京都府へのクルーズ船の誘致を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ポートセールスによる集貨や企業立地による創貨により過去最高のコンテナ取扱量を実現 ＜コンテナ取扱量：（実入）15,000TEU）、（空コンテナ含む）20,000TEU＞・クルーズ見本市等への参加等により寄港数増を実現 ＜令和2年寄港決定数：35回＞

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。